

日 時 令和4年10月4日（火）

児 童 13名

指導者 島崎 奈緒

1 単元名 「受け継ぐのは私たち！！葛巻町の伝統」 第2小単元「くずまき秋まつりを盛り上げよう」

2 単元の指導構想

(1) 教材（題材）について

本単元では、「くずまき秋まつり」を教材とし、葛巻町の魅力を伝える活動を通して、自分たちの住むまちへの親しみを深めることをねらう。「くずまき秋まつり」は、葛巻町で昔から受け継がれている伝統の一つである。子どもたちにとっても、お祭りに参加している経験や保護者がお祭りに関わっていることから身近に感じられる教材であり、まちや地域の方々にとっても、昔から親しまれているものである。

第1小単元では、子どもたちのこれまでの経験や体験から、「くずまき秋まつり」についてまとめる活動を通し、知らないことがたくさんあることに気づいた。更に、アンケートの結果から、他の学年の子どももくずまき秋まつりを詳しく知らないことがわかり、自分たちの調べたことを伝えたいと考えた。相手に伝える時は、多面的・多角的に考え、情報を整理・分析をして、調べたことを伝えられるようにした。本単元では、ほかの地域のお祭りと比較することによって、くずまき秋まつりならではの良さや魅力に気づき、地域の方のお祭りに対する思いや願いを聞くことで、「葛巻町の伝統を受け継いでいく」という思いをもたせたい。

子どもたちが本単元を学習することにより、探究的な見方・考え方を働かせながら、葛巻町の魅力や課題の本質を捉えようと主体的・対話的に学習を進められると考える。人との出会いによって葛巻町に対する見方や考え方の幅を広げたり、葛巻町と自分との関わりや自己の成長について振り返ったりすることで、深い学びにつながっていくと考える。

(2) 児童について

本学級の子どもたちの多くは、「くずまき秋まつり」に参加した経験がある。子どもたちにとって身近な地域の行事である。また、子どもたちは、これまでの社会科や総合的な学習の時間などの学習を通して、身近な事象に疑問をもち、質問したり、自分達で調べたりしながら解決を図る学習経験をしてきている。どの教科の学習活動にも積極的に取り組んでいる。

しかし、友達の考えとつなげて考えたり、様々な事象を比較したり関連づけたりして、共通点や相違点を見つける力、相手の立場になって考えたり伝えたりする力に課題がある。

(3) 指導にあたって

研究仮説①に関わって

- ①子どもの思いをもとに、課題を設定することで、意欲的に学習に取り組むことができるようにする。
- ②よりよい葛巻町になるように、自分たちの思いと地域の人々の思いを込めることの意味を改めて感じられる発問や資料の提示を行い、自分ごととして捉え、活動できるようにする。

研究仮説②に関わって

- ①考えるための技法や思考ツールを使って、自分の考えと友達の考えを比較し、関連づけることで、葛巻町への願いを理解することができるようにする。
- ②社会科、音楽科、図画工作科の見方・考え方を働かせられるように発問を工夫することで、くず小まつりの実行に向けて、意欲的に活動できるようにする。

3 単元の指導計画

(1) 単元の目標

くずまき秋まつりの魅力を他者に伝える活動や地域の方々と交流し体験する活動を通して、歴史や伝統のよさを大切に守り続けながら、まちの魅力を伝えようとしている人たちがいることや、その取組に気付くことができるようにする。また、自分たちが住むまちの良さを実感し愛着をもつとともに、これからも葛巻町のためになる活動に関わっていくことができるようにする。

(2) 単元の評価規準 (第2小単元)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>ア くずまき秋まつりを受け継いでいる人々がそれぞれの立場で努力していることに気付くとともに、その人たちの思いを理解している。</p> <p>イ くず小まつりを自分たちで行うため、身近な人や地域の人にインタビューを行い情報を収集している。</p> <p>ウ くずまき秋まつりを受け継いでいる人たちやその人たちの思いを深く理解することは、探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p>	<p>エ くずまき秋まつりにかかわっている地域の人や受け継いでいる人との交流を通して、感じたことや考えたことから課題を設定し、解決に向けて具体的な活動を行っている。</p> <p>オ 課題の解決に必要な情報を得るために、順序立てて計画を立てたり、集めた情報を取捨選択したりしている。</p> <p>カ くず小まつりの山車について、自分たちと地域の人々の葛巻町への思いをもとに、山車の人形と飾りの案を考えている。</p> <p>キ 自分たちの思いや考えを具体化し、伝えたい相手や目的に</p>	<p>ク 調べる活動や地域社会の人々との交流において、くずまき秋まつりについて関心を高め、くず小まつり実行に向けて、進んで探究活動に取り組んでいる。</p> <p>ケ くず小まつり実行のため、互いの考えを伝え合い、受け入れ、良さを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。</p> <p>コ これまで関わってきた人の思いと自分の思いを擦り合わせつつ、取り組もうとしている。</p>

	応じて、くず小まつりの計画を考え、実行している。	
--	--------------------------	--

(3) 指導と評価の計画 【A…課題設定 B…情報収集 C…整理・分析 D…表現・まとめ】

小単元	過程		評価規準
		○学習内容と学習活動 ◆研究仮説に関わる手立て	評価の観点・評価の方法
第1小単元（20時間） 「くずまき秋まつりを知ろう！」			
くずまき秋まつりについて、インターネットや地域のゲストティーチャーの方とのインタビューと交流を通して、調べる。そして、調べたことを葛巻小学校のみんなに伝えるために、壁新聞を作成する。			
第2小単元 (35時間)	A	○社会科「地域で受け継がれる伝統や文化」の授業と関連して、くずまき秋まつりに対する地域の人々の思いを知り、受け継ぐために行っている取り組みを理解する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">地域の人々のくずまき秋まつりへの思いを知ろう。</div>	
	B	○調査計画を立てる。 ◆調査活動を順序だてて計画するために、矢印を用いる。 仮説2①に関わる手立て ○地域の人へのインタビューを行ったり、一緒にくずまき秋まつりの準備体験を行ったりして、地域の人々の思いや努力を聞く。また、くずまき秋まつりの課題を聞く。	<input type="checkbox"/> くずまき秋まつりに対する地域の人々の思いを聞くために、身近な人や地域の人々にインタビューや交流を行い、情報や技術を収集している。 (活動の様子・ワークシート) <input type="checkbox"/> 課題の解決に必要な情報を得るために、序立てて計画を立てている。 (発言・ワークシート) <input type="checkbox"/> 調べる活動や地域社会の人々の交流において、くずまき秋まつりに関することに関心を高め、目的達成に向けて、進んで探究活動に取り組んでいる。 (活動の様子・ワークシート)

C	<p>○インタビューや体験したことを整理し、地域の人々の共通の思いを見つけるとともに、自分たちの思いを関連づける。</p> <p>◆調査結果と自分たちの思いを比較するためにベン図を用いる。</p> <p style="text-align: center;">仮説 2 ①に関わる手立て</p>	<p>カ 地域の人の受け継いできた思いと自分たちの思いを分類した上で関連づけ、表現するために取り組んでいる。</p> <p>(活動の様子・発言・ワークシート)</p>
D A	<p>○くずまき秋まつりに対する地域の人々の思いをまとめる。</p> <p>○課題を設定する。自分たちの思いと地域の人々の思いから、くずまき秋まつりを受け継いで行くために自分たちにできることを考える。</p> <p>◆子どもの願いや思いから、学習課題を設定する。 仮説 1 ②に関わる手立て</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">くず小まつりをやってみよう。</div>	<p>キ 自分たちの思いや考えを具体化し、伝えたい相手や目的に応じて、考えている。</p> <p>(発言・行動・ワークシート)</p> <p>ク くずまき秋まつりにかかわっている地域の人や受け継いでいる人との交流を通して感じたことや考えたことから、課題を設定し、解決に向けて具体的な活動を考え、行っている。(発言・ワークシート)</p>
B	<p>○調査計画を立てる。いつ、だれに向けて行うのか。(例) 授業参観や学習発表会、お世話になった地域の方や家族等</p> <p>◆子どもたちの願いと地域の人々の思いが関連付いていることを想起させる。</p> <p style="text-align: center;">仮説 1 ①に関わる手立て</p> <p>○山車の作り方や神楽の踊り方等を調べたり、地域の人に教えていただいたりする計画をたてる。</p>	<p>カ 課題の解決に必要な情報を得るために、順序立てて計画を立てたり、集めた情報を取捨選択したりしている。</p> <p>(発言・ワークシート)</p> <p>ク 調べる活動や地域社会の人々の交流において、くずまき秋まつりに関することに関心を高め、目的達成に向けて、進んで探究活動に取り組んでいる。</p> <p>(活動の様子・ワークシート)</p>
C	<p>○くずまき秋まつりで受け継がれてきた技術や思いを整理・分析する。</p> <p>○くずまき秋まつりの中で受け継ぐことと自分たちでオリジナルで考えることを考え、計画する。</p> <p>○オリジナルで考えることを構想する。 (本時)</p>	<p>カ くず小まつりの山車について、自分たちと地域の人々の葛巻町への思いをもとに、山車の人形と飾りの案を考えている。</p> <p>(活動の様子・発言・ワークシート)</p> <p>ク 目的実現のため、互いの考えを伝えあい、受け入れ、良さを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。</p> <p>コ これまで関わってきた人の思いと自分の思いを擦り合わせつつ、取り組もうとしている。</p>

D	<p>○地域の人から指導を受け、山車づくりや神楽の練習を行う。</p> <p>◆音楽科や図画工作科の見方・考え方を生かして活動する。</p> <p style="text-align: center;">仮説2②に関わる手立て</p>	<p><input type="checkbox"/> 目的実現のため、良さを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。</p> <p><input type="checkbox"/> くずまき秋まつりを受け継いでいる人たちやその人たちの思いを深く理解することは、探求的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p> <p style="text-align: center;">(発言・ワークシート)</p> <p><input type="checkbox"/> くずまき秋まつりを受け継いでいる人々がそれぞれの立場で努力していることに気づくとともに、その人たちの思いを理解している。</p> <p style="text-align: center;">(発言・ワークシート)</p>
<p>第3小単元（15時間） 「くず小まつりをしよう！！」</p> <p>体験活動の発表や地域の人との交流、イベントでの発表を通して、くずまき秋まつりの伝統を伝える活動を行う。また、葛巻町の歴史や伝統を受け継ぐのはわたしたちであるという自覚を持ち、広げるための考えを持ち、これからも葛巻町のためになる活動に関わろうとする。</p>		

4 本時の指導計画

(1) 目標

自分たちと地域の人のかずまき秋まつりに対する思いをもとに、くず小まつりの山車の人形と飾りの案を考えることができる。

思考力・判断力・表現力等

(2) 評価規準

くず小まつりの山車について、自分たちと地域の人のかずまき秋まつりの思いをもとに、山車の人形と飾りの案を考えている。

思考・判断・表現

(3) 展開

段階	学習内容と学習活動	□指導上の留意点 ◆研究に関わる手立て ◎評価	資料等
導入 5分	<p>1. 学習の見通しをもつ。</p> <p>2. 課題を設定する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分たちと地域の人のかずまき秋まつりへの思いをこめた山車の人形とかざりを考えよう。</p> </div>	<p>□これまでの学習で確認した、自分たちと地域の人のかずまき秋まつりへの思いを振り返り、見通しがもてるようにする。</p>	<p>学習計画 掲示物</p>

<p>展開 35分</p>	<p>3. 自分たちの考えを出し合い、グループで共有する。</p> <p>4. 地域の人のおまつりへの思いをふまえているかという視点で、グループごとに話し合う。</p> <p>○お祭りは、自分たちの思いだけでなく、地域の人のお祭りがあって行われていること</p> <p>5. グループで出した意見を全体で交流する。</p>	<p><input type="checkbox"/>自分たちの山車の人形や飾りの案を整理する必要性を捉えさせ、どの思考ツールで整理するか考える。</p> <p>◆思考ツールを用いて、意見を整理し比較しやすくする。 <u>仮説2①に関わる手立て</u></p> <p><input type="checkbox"/>お祭りは地域の人や大勢の人の協力が行われていることの大切さを再確認する。</p> <p>◆事象や人々の相互関係に着目して、話し合いができるように、発問を工夫したり、資料を用意したりする。 <u>仮説2②に関わる手立て</u></p> <p>◎くず小まつりの山車について、自分たちと地域の人のおまつりへの思いをもとに、山車の人形と飾りの案を考えている。 (発言・ワークシート)</p>	<p>ワークシート 付箋 説明のための紙板 書</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>6. 振り返りを行う。</p> <p>7. 次時の活動を確認し、学習の見通しをもつ。</p>	<p><input type="checkbox"/>振り返りの際は、この授業を通して、気づいたこと・つくりたいとおもった山車の人形と飾りとその理由を書く。</p> <p><input type="checkbox"/>これからの学習に見通しを子ども自身がもてるように確認する。</p>	<p>ロイロノート ワークシート</p>